

緑のセンターだより

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター(相談所)

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel 0166-65-5553 Fax 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>



No.178

発行: 令和元年 6月1日

New

講習会のご案内

(6月の講座お申込み・受付は、5/21日～)

(7月の講座お申込み・受付は、6/20日～)

「洋ランを木片で育てる講座」

とき 令和元年6月2日(日) **500円**
午後1:30～3:30 定員10名
講師 緑のセンター相談員

「ハーブ・フーズづくり」 **1,000円**

とき 令和元年6月19日(水)
午後1:30～3:30 定員20名
講師 ハーブコーディネーター 建部 久美子さん



「夏に楽しむ花の寄せ植えづくり」

とき 令和元年6月16日(日) **2,000円**
午後1:30～3:30 定員20名
講師 緑のセンター相談員

「庭木(つつじ類)の剪定実習」

とき 令和元年6月22日(土)
午後1:30～3:30 定員20名
講師 公園緑地協会 職員



「観葉植物の寄せ植え」 **1,000円**

とき 令和元年7月6日(土)
午後1:30～3:30 定員20名
講師 緑のセンター相談員

「フラワーハンギングバスケットづくり」

とき 令和元年6月23日(日) **2,500円**
午後1:30～3:30 定員20名
講師 フラワーマスター 山本 裕美さん



「花木などの殖やし方の基礎講座」

とき 令和元年7月7日(日) **500円**
午後1:30～3:30 定員10名
講師 緑のセンター相談員

「山野草講座」～寄せ植え作り

とき 令和元年7月21日(日) **1,000円**
午後1:30～3:30 定員20名
講師 園芸家 森下 光晴さん



連続講座を受講の方々へ

～第2回のお知らせ～

各講座 午後1:30～3:30

「家庭菜園講座」 6/ 8(土)

「菊ガーデン講座」 6/15(土)

「タイムトキソウ・サギソウ講座」 7/28(日)

展示会のご案内

「ミニ盆栽展」 6月21日～6月23日
(初日は午後から、最終日は3時まで)



【休館日のお知らせ】

4月～10月は第2・4月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

11月～ 3月は毎週月曜日が休館日です。(")

大雪アリーナにて

花フェスタ 2019 旭川
6月12日(水)～16日(日)
9:00～17:00

* 緑の相談コーナー併設 *
お気軽にお越しください

〈園芸の基礎知識〉 植物の葉っぱの働き

～ 葉っぱの時計 ～

■葉っぱは夜の長さをはかる

葉っぱが夜の長さをはかっていることは、当センターだよりNo.173に掲載しました。植物たちは夜の長さをはかることによって、暑さや寒さの訪れを約2か月先取りして知っているのです。この2か月ほどを利用して、夏の暑さがくるまでに、あるいは冬の寒さがくるまでに、ツボミをつくり花を咲かせ、タネをつくることのできるのです。

■正確に夜の長さを刻む

アサガオの芽が出たばかりのふた葉の株を、一日中照明した場所で育て続けても、いつまでもツボミをつくりません。そこである日、段ボール箱をかぶせて、夕方から朝まで夜の暗黒を与えます。その後、再び一日中照明した場所で育てると、数週間後に花が咲きます。しかし、アサガオの芽生えに段ボール箱をかぶせて夜の暗黒を与えても、その長さが短い場合(約9時間以下)にはツボミはできません。このように、植物たちは花を咲かせて子孫(タネ)をつくるという大切な行為を、夜の長さに依存しているのです。そのため、植物たちはほんとうに正確に夜の長さをはかっているのです。植物はどのように正確に夜の暗黒時間の長さをはかつて、ツボミをつける季節を見分けています。

(参考資料:ソフトバンククリエイティブ「葉っぱのふしぎ」ほか)

葉っぱはどれほど正確に夜の長さをはかるか?



相談員 4 名体制でご相談をお受けします

当緑のセンターは市民の皆様から花や緑に関わる植物全般にわたったご相談をお受けしています。

「今年になって花は咲かなくなったのはなぜだろうか?」「庭にある樹木の剪定の仕方はどうするの?」「きゅうりのつるはどのように整理したらいいのか?」など、植物に関する疑問質問など多岐にわたってご相談を受けています。また、洋ランなどの植替えを持ちこまれる方や、生育が異常になった現物を持ち込まれて診断を受ける方々もたくさんいらっしゃいます。

本年度、当緑のセンターでは、相談員4名を配置し、2名体制で対応させていただきます。配置している相談員は、もともと農業現場で技術的な課題に取り組んできた者ばかりです。なかには趣味で盆栽や鉢花を育てている経験を生かし、ある相談員は野菜品種の育種に取り組んできた経験を生かして、市民の皆様には栽培技術や土壌環境を改善する方法、初めての皆様には基礎からお教えいたします。また、年間数多くの講座を開いています。市の広報に掲載されますので、ご覧になっていただき積極的なご参加をお待ちしています。

なお、展示温室では数多くの植物を育てて展示しています。1年中いろいろな花が観られます。この展示温室は2名の女性職員が交替で管理しています。温室内では気軽に声をかけていただき、めずらしい亜熱帯植物や多くの鉢花を楽しんでいただけます。



植物の病害虫

その49 「野菜の根こぶ病」



1 寄生しやすい植物

ハクサイ、カブ、ツケナ類、キャベツ類などのアブラナ科野菜、また雑草ではナズナ、イヌガラシなどにも寄生して、根こぶ病を発生します。

2 被害

根こぶ病はかび(plasmodiophora brassicae:プラスモディオフォラブラシカエ)の一種を病原菌として起こる病気です。このかびは絶対寄生菌で生きた植物細胞だけに寄生し病気を起こします。そのため作物残渣など根に共生した菌類を利用して根こぶ病菌が増殖し、作物に病気をおこすことはありません。

3 生態

植物体の根に白色のこぶを生じます。発芽してまもない幼苗に感染した場合には主根に大きなこぶを形成して根は変形奇形になります。この場合地上部はしおれて枯死することもあります。生育の途中で病原菌に侵された場合には側根に小～中型のこぶを多数生じます。こぶが肥大すると根部からの水分の通導が抑えられるため、晴れた日中に葉がしおれることがあります。生育の後期に発病した場合には被害は軽く、葉物類のハクサイ、キャベツ、チンゲンサイなどでは市場出荷ができる場合もあります。根に生じたこぶは気温や地温が高いときには軟化・腐敗しやすく悪臭を発します。

発病に最適な温度は20～25℃で、土壌 PH は 4.6～6.4 で多発します。

4 防除法

- ・連作を避けてイネ科などのアブラナ科以外の作物と輪作し、土中の休眠孢子濃度を低くします。
- ・圃場の排水をよくし、地下水位の高いところでは高畝栽培をします。
- ・土壌の PH が酸性の圃場では石灰を施用して PH を矯正します。(PH6.5 以上)
- ・こぶは圃場に放置したりすきこんだりせず、圃場外に持ち出して処分します。
- ・根こぶ病の発生する圃場で使用した農機具や長靴に付着した土壌は洗い落とします。
- ・育苗には無病土を用います。
- ・登録農薬を確認し、薬剤防除を行います。

こ だ 木立ち性ベゴニアを楽しむ

シュウカイドウ科 ベゴニア属

ベゴニアには多くの改良品種があります。大きく分けると、(1)木立ち性ベゴニア、(2)球根性ベゴニア、(3)根茎性ベゴニアの3つに分類されます。地下に球根や根茎をつくらず茎が立ち上がるものを「木立ち性ベゴニア」と呼びますが、花や葉の美しさとみずみずしさが際立ち、次々と何段にも枝分かれしたシャンデリアのような花房が葉の間からいくつも垂れ下がって咲き、個性的な葉との調和が美しい鉢花です。



これら多くの仲間からお気に入りを選ぶのも、ベゴニアを楽しむ一つの醍醐味です。

……………く 失敗しない管理のコツ ……………

- ① 置き場所は、太陽の光を好む植物ですが、夏の暑さや直射日光などの強い光が苦手です。夏場は戸外の涼しい半日陰などが良いでしょう。また、冬場の寒さには弱いので 10℃以上の室内で育てます。15℃以下では開花は望めません。
- ② 水やりは、比較的水分を好む植物なので生育期には鉢土の表面が乾いたら鉢底から流れ出るだけたっぷり与えます。晩秋から冬の水やりは、むしろ乾かし気味に育て、葉水をこまめに与えるようにします。
- ③ 肥料は、生育期間中に緩効性肥料を置き肥します。開花中は 2,000 倍程度に薄めた液肥を月に2～3回程度与えます。ただ、多肥や高濃度の液肥は、株が弱る原因になるのでやり過ぎに注意します。
- ④ せん定は、株姿が乱れてきたら切り戻します。生育旺盛な時期であれば、好みの高さで切り戻せますが、真夏と冬は軽く切り戻す程度にとどめます。いずれも、葉芽のある節の上で切ります。切り取った枝は、葉を3～4枚着けて長さ5～7cmに切り、赤玉土(小粒)等に挿して増やすこともできます。
- ⑤ 植替えは、4月中旬から7月上旬、もしくは9月から10月が適期です。用土は、赤玉土6、腐葉土4の混合土が適します。緩行性肥料を少し混和しておくとい良いでしょう。

展示室の植物 (84)

ピンポンの木 学名 : Sterculia nobilis アオギリ科ピンポンノキ属

原産地は中国南部の常緑高木(樹高は6～12m)です。「ピンポンの木」という名前は卓球のピンポンをイメージしますが、卓球のピンポンとは関係なく、中国語で「頻姿」(ピンポー)と呼ばれ、この発音から英名でピンポンツリー(Pingpong tree)と呼ばれたのが、名前の由来になったよう



です。実が割れて中から種が見えますが、この種が食べられるようで、焼けば甘みのない栗のような味、蒸せばギンナンのような味がするそうです。観葉植物として出回っていて、面白い樹形をした観賞価値の高い観葉植物です。